

## 年頭のご挨拶

一般社団法人 熊本県臨床検査技師会  
会 長 瀧 口 巖

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には益々ご健勝で明るい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は本会事業へのご協力に対し、深く感謝申し上げますと共に、本年も本会活動に対し、さらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年の大きな出来事を振り返ってみますと、2020年のオリンピック開催が東京に決定したことや、この時使われた「お・も・て・な・し」の言葉が大ブレイクし、昨年の年間流行語大賞に選ばれたこと。それから富士山の世界文化遺産の登録や日本の「和食」が無形文化遺産に登録されたことなど、すばらしい日本の文化が世界に認められた年であったと感じました。

一方、熊臨技におきましては、大きな事業として新法人制度に伴う一般社団法人への認可が4月に県より下りました。申請書類の作成から申請手続き、さらに認可後の書類提出等まで約3年以上担当された役員・会員の方々へ心からお礼申し上げます。また、本会の創立60周年・法人化25周年の記念事業におきましては昨年3月にホテル日航にて開催し、県内外から多数の参加を頂き、盛会に終了致しました。この後、60周年の記念誌発行のための編集委員会を設置し、5月から編集に取掛っていただきました。お蔭様で今年の初めには皆様のお手元に届くことと思います。

次に日臨技からの精度管理施設認証につきまして、県下の各施設に呼びかけましたが、平成25年度の申請は3施設に止まりました。この件に関しては施設認証が可能な施設まだまだ数多くありますので、平成26年度にはもっと多くの施設が申請していただくことをお願い致します。また、熊臨技では県医師会と毎年実施しています熊本県精度管理調査におきまして、平成25年度から精度管理優良施設の認証を実施していくことで県医師会と協議を進めているところです。これが実現すれば優良施設においてはきちんとした精度管理が行われていることが証明できる認証状が発行されると思います。私達臨床検査技師はきちんとした精度管理を実施することで信頼を保ち、安全で安心な検査データを提供することが責務だと考えます。

今年の事業としては第46回熊本県医学検査学会を初めて温泉の地菊池方面の会員で担当していただく事になりました。現在、学会内容の企画やプログラムの調整等に一致団結して頑張ってもらっておりますので、会員の皆様の多数の参加をお願い致します。それから、平成26年度は役員改選の年となっております。若い方々の技師会活動への参加を希望すると共に、会員全員でより一層活発な技師会活動にして頂くことを祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶といたします。

## 第 46 回 熊本県医学検査学会追加演題募集のお知らせ

第 46 回熊本県医学検査学会  
学会長 三牧 司佳  
副学会長 西原 幸治  
実行委員長 原田 浩邦  
学会学術部長 坂井 綾子

前回お知らせ致しましたが、第 46 回熊本県医学検査学会（菊池市開催）での一般演題を下記の要綱で追加募集致します。

日頃の研究成果、知見や経験を奮ってご発表くださいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 学会開催日 平成 26 年 6 月 8 日（日）
2. 会場 菊池市文化会館
3. 一般演題募集要項  
演題申込み締め切り 平成 26 年 1 月 31 日  
抄録締め切り 平成 26 年 3 月 10 日  
抄録記入様式は、熊本県技師会HPに掲載されております。
4. 学会発表形式 液晶プロジェクター(Windows Microsoft PowerPoint 形式)
5. 申込み・問い合わせ先  
学会学術部長 坂井 綾子

〒861-1196 熊本県合志市須屋 2659 番地

国立病院機構 熊本再春荘病院検査科

TEL 096-242-1000 (内線 315)

FAX 096-242-2619

e-mail [ayako40@saisyunsou.hosp.go.jp](mailto:ayako40@saisyunsou.hosp.go.jp)

できるだけ e-mail での申込みをお願いいたします。

(件名に 県学会演題申込 と記入してください。)

## 平成 25 年度 第 2 回理事会

日 時 : 平成25年11月30 日 (土) 15:00~16:30

場 所 : 菊池市文化会館 (熊本県菊池市亘32番地 Tel: 0968-24-1101)

- 1、開会；瀧口巖会長が議長として開会宣言
- 2、出席者確認 (資格審査)；出席者 (委任状含む) の確認・報告  
出席者 : 瀧口、原田、増永、松本珠、山本、坂口、(池田)、田中、徳永英、中潟、寺本、石橋、山平、三牧、渡邊、鬼塚東、(室原)、(鬼塚寛)、(矢野)、(工藤)、川口、古閑、(西山)、徳永好、小田和、(安原)、山田、平井、(尾崎)、(上田)、上原 ( ) =委任状もしくは欠席

\*理事会定員 31 名 (理事 29 名・監事 2 名) : 定足数 1/2 (16 名) 以上の出席

- 3、会長 (議長) 挨拶

### 4、議事

#### <報告事項>

- (1) 会長報告：日臨技定期総会報告、九臨技関係報告

- (2) 各部報告

- ・総務 (松本)；日臨技及び他団体等との連絡事項、会員動向等 (会員数1036名)
- ・広報 (山本)；ニュース版の発行・発送、60周年記念誌の発行
- ・組織 (坂口)；地区懇親会 (11/30)、学術部講演会レクリエーション報告 (ボウリング46名懇親会44名)
- ・渉法 (田中)；平成26年度賛助会員の募集 (46社目標)、広告募集、健康フェス (9/28,29) 報告
- ・事業 (池田)；平成25年度熊本県精度管理調査解析会 (1月後半予定)、精度保障認証施設の推進、
- ・学術 (徳永)；学術講演会 (11/16 56名参加) くまもと医学検査論文募集、九州支部部門員推薦
- ・生涯教育 (増永)；生涯教育研修会の登録 (9月分まで終了)
- ・経理 (中潟)；通常経理報告
- ・特別事業 (寺本)；設立60周年記念誌の計画

- (3) 第 63 回日本医学検査学会 H27/5/17・18 新潟 座長推薦；

生理 (岩山義雄技師 熊本中央)、輸血 (永田雅博技師 熊本医療)、チーム医療 (春田昭一技師 済生会)

- (4) 第 64 回日本医学検査学会 H28/5/14 福岡国際会議場 (佐賀県担当) 第 65 回は兵庫県立候補

- (5) 第 49 回九州支部医学検査学会 (11/1,2) 沖縄 宜野湾市

- (6) 第 47 回熊本県医学検査学会 H27 年度総会 (担当地区 天草地区) 準備会議開催

- (7) 平成 25 年度熊本市衛生検査精度管理専門委員会 11/28 (池田勝義技師、田嶋恵美子技師)

- (8) 第 7 回熊本県医療・保健・福祉連携学会 賛助金・広告募集賛助金 5 万円 (熊臨技) 広告は熊保大に依頼

- (9) 日臨技 認定管理検査技師コースの受講者募集 (50~60 名) 10/22 現在 24 名とのこと

- (10) 全国検査と健康展 開催結果

日時：平成 25 年 11 月 17 日 9:00~12:00 会場 ゆめタウン光の森、出勤者 11 名

パネル展示、パンフレット入りエコバック配布、検査説明コーナー、認知度アンケート調査 (500 名中 300 名が臨床検査技師の名称を知っている)

- (11) 日臨技精度保障認証施設 3 施設申請 11/20 締切

- (12) 日臨技より国民向け広報誌 「季刊誌ピペット」 発刊

- (13) 元熊臨技会長 上野一誠氏春の叙勲申請準備

#### <協議事項>

- (1) 第46回熊本県医学検査学会 平成26年度総会 会期：平成26年6月8日 (日)

会場：菊池市文化会館 担当：熊本市周辺地区 学会長：三牧 司佳理事 (菊池郡市医師会立病院)

演題締切は12/10 抄録締切 H26/3/10

- (2) 熊臨技創立60周年記念・法人化25周年記念誌の進捗状況

9/2からできた分を入稿 (学術以外)、11月18日の州で校正実施、歴代会長 (写真入り) に挨拶文を依頼。

今後の予定 (表紙の選定、学術ページの校正、発行を急ぐ)

- (3) 地区再編・組織運営規程 (理事選出区分) の見直し

- (4) 熊本県医事功労者知事表彰 表彰推薦委員会開催結果 候補として中潟順子技師を推薦

- (5) 平成25年度九州地区学術部門長選出について

部門委員を各分野より 2 名選出 (11月末締切)、九州地区理事会で決定

- (6) 第7回熊本県医療・保健・福祉連携学会 分科会演題・演者の選考 (12/10まで)

テーマ 「多職種における医療連携」 候補に打診

### 5. その他

### 6、閉会

以上

## 平成 25 年度地区懇談会 議事録

平成 25 年 11 月 30 日 16:30～17:30

於：菊池文化会館

第 46 回熊本県医学検査学会開催について菊池地区会員と常務理事で以下の内容で意見交換を行った。

- ・各学会役員の自己紹介（省略）
- ・一般演題 20 題（募集延長）、学術講演 1 題、文化講演（一般公開）1 題、ラウンドテーブル 2 社を予定。
- ・教育講演は島添先生、文化講演は藤原先生に打診済み、正式な依頼状は熊臨技担当する。
- ・ラウンドテーブルは A&T、ロッシュに依頼済み。テーマはクラウドと ISO を予定。
- ・ラウンドテーブルは第一会場で 2 演題の講演となるため、1 時間 30 分必要である。
- ・開会式の時に菊池市長のあいさつは可能とする（市長が変更となった）。
- ・ピンクリボンコーナーには、ホール入口にスペースがある。  
菊池地区の女性会員も手が空いていれば、手伝ってもらいたい。
- ・学会に必要な機材は熊臨技のものを使用する。
- ・名札ホルダーは熊臨技で準備する。
- ・駐車場係は業者に依頼する。
- ・抄録の印刷は、熊臨技の印刷物を依頼している光陽印刷に依頼する。
- ・教育講演、文化講演は午後に予定しているため、参加者が少ないことを心配している。  
参加者が減らない工夫を学会運営委員で考える。
- ・学会進捗状況をホームページで知らせる。
- ・前日の懇親会は菊池地区担当、ゴルフ大会は組織部担当とする。
- ・懇親会には教育・文化講演の講師も参加するかもしれない。
- ・総会には 1 時間とってあるが、役員改選もあるので時間が足りないかもしれない。
- ・ラウンドテーブルと総会の時間が延びれば、終了時間がおしてくる。
- ・学会終了後、理事会を開催するので場所を確保してほしい。
- ・全ての記録をデジタルとして保存してほしい。

（文責 増永）

## 平成 25 年度 第 9 回常務理事会

日 時 : 平成 25 年 12 月 10 日 (火) 18 : 30 ~ 21 : 00

場 所 : 熊臨技事務所会議室 (大窪 1-6-3 096-324-8477)

出席者 : 瀧口、原田、増永、松本 (珠)、山本、坂口、田中、池田、徳永、

欠席者 : 中潟、寺本

### <報告事項>

- 1、会長報告 ; 医専連関係、県医師会関係 (法人研修会 H26.1/21 県庁) 日臨技・九州支部関係、熊臨技関係
- 2、各部報告
  - ・総務 (松本) ; 会員動向 (12/10 現在 1037 名)、
  - ・広報 (山本) ; ニュース版の発行・発送、60 周年記念誌発行
  - ・組織 (坂口) ; 地区懇談会 (11/30) 終了、地区再編案について理事会に提出→再度協議
  - ・渉法 (田中) ; 平成 25 年度賛助会員 (46 社) 広告募集を 1 月から開始
  - ・事業 (池田) ; 平成 25 年度熊本県精度管理解析会 2/1 に決定。熊本県臨床検査講習会を企画中。
  - ・学術 (徳永) ; くまもと医学検査論文募集、第 7 回学術講演会テーマ検討
  - ・生涯教育 (増永) ; 生涯教育研修会の開催・参加登録状況
  - ・経理 (中潟) ; 通常経理報告
  - ・特別事業 (寺本) ; 熊臨技創立 60 周年・法人化 25 周年記念誌の発行計画
- 3、第 63 回日本医学検査学会 H26/5/17・18 新潟 一般演題締切延期 (12/15)
- 4、第 64 回日本医学検査学会 H27/5/14 福岡国際会議場 (佐賀県担当) 第 65 回は兵庫県立候補
- 5、第 49 回九州支部医学検査学会 (11/1,2) 沖縄 宜野湾市
- 6、第 47 回熊本県医学検査学会 H27 年度総会 (担当地区 天草地区) →会議 H26/1/17 予定
- 7、県知事表彰候補者推薦を理事会で承認

### <協議事項>

- 1、熊臨技創立 60 周年記念・法人化 25 周年記念誌の進捗状況  
9/2 からできた分を入稿 (学術以外)、11 月 18 日の州で校正実施、歴代会長 (写真入り) に挨拶文を依頼。  
初校検討が延期の予定。
- 2、第 46 回熊本県医学検査学会 平成 26 年度総会 支援  
会期 : 平成 26 年 6 月 8 日 (日)、会場 : 菊池市文化会館 担当 : 熊本市周辺地区  
学会長 : 三牧 司佳理事 (菊池郡市医師会立病院) 演題締切は 12/10 抄録締切 H26/3/10  
一般演題 20 題予定、学術講演 (島添先生) と文化講演 (藤原先生) 内定 ランチョンセミナー 2 題
- 3、地区再編及び組織運営規程 (理事選出区分) の見直し
  - ・熊本市地区 名称にかわり県北、県央地区という名称を用いる。会長から関係部署へ再度連絡 結論は 1 月で。
- 4、知事表彰祝賀会計画 (同時に理事会を開催する) 発起人会、開催日時・場所を選定 講演会はなしとする
- 5、移行法人研修会参加者 日時 H26.1.21 13:00~16:00
- 6、その他
  - ・熊本県臨床検査精度管理 : 精度管理優良施設認定精度について
  - ・第 59 回 日本臨床検査医学会九州地方会、第 25 回 日本臨床化学会 九州支部総会の参加およびかけ
  - ・臨床検査講習会 検査技師以外の医療職種に参加をよびかけたい

次回会議 : H26 年 1 月 14 日 (火) 18 : 30~熊臨技事務所

以上

# 第 16 回 熊本睡眠呼吸障害研究会

～日本医師会生涯教育講座 2.0単位～

取得カリキュラムコード 45：呼吸困難 73：慢性疾患・複合疾患の管理  
80：在宅医療 82：生活習慣

日時 2014年 1月 24日 (金) 19:00～21:00  
場所 熊本市医師会館 2F講堂  
熊本県熊本市中央区本荘3丁目3番3号  
参加費 500円 (事前申し込み不要)

## 《プログラム》

### I. 開会挨拶

II. 一般演題 座長：熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学 講師 藤井 一彦 先生

『 当院におけるCPAP療法の現状 』

江南病院 吉岡 優一 先生

『 持続陽圧呼吸療法 (n-CPAP) がリハビリテーションに

有効であった若年発症脳卒中の2症例 ～臨床医の立場から～ 』

竜山内科リハビリテーション病院 上拾石 秀一 先生

III. 特別講演 座長：熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学 教授 興梠 博次 先生

『 睡眠呼吸障害と関連する病態の新展開 』

京都大学大学院医学研究科 呼吸管理睡眠制御学講座 教授 陳 和夫 先生

### IV. 閉会挨拶

共催：熊本睡眠呼吸障害研究会、チェスト(株)、帝人在宅医療(株)

後援：熊本県医師会、熊本市医師会、熊本県臨床検査技師会



#### 【無料託児所について】

熊本市医師会館内の保育施設「メディッククラブ」が、熊本県女性医師キャリア支援センター事業の一環として無料で利用できます。

ご希望の方は、事前にTEL (096) 223-5162 (熊本県女性医師キャリア支援センター) へご予約をお願いします。

平成 25 年 12 月 吉日

会員各位

化学・免疫・情報研究班

班長 今田 龍市

## 化学・免疫・情報研究班 勉強会のご案内

謹啓 会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今回、化学・免疫・情報研究班におきましては、血液ガス検査の基礎について企画いたしました。特に血液ガスデータの読み方、酸塩基平衡、血液検体の取り扱い等について詳しく説明して頂きます。

ご多忙の折とは存じますが、会員の皆様には多数の参加をお願いいたします。 謹白

### 記

【日 時】 平成 26 年 2 月 6 日 (木) 18:30~20:00

【場 所】 熊本大学医学部附属病院 中央検査部 カンファレンス室

【参加費】 会員 無料 (非会員 3000 円)

【講演】 『血液ガスデータの読み方、酸塩基平衡・血液検体の取り扱い方について』

講師：鈴木 大二先生 シーモンヘルスケア・データアナリティクス(株) 血液ガススペシャリスト

### 【会場案内】

#### 全体見取り図



【連絡先】 創起会 くまもと森都総合病院 臨床検査科 今田龍市 (TEL 096-364-6000)

## 画像生理研究班勉強会

会員各位

謹啓 時下、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄の事と存じます。今回、画像生理研究班ではハンズオンセミナー(心臓・腹部基礎)開催する運びとなりました。ご多忙の時期と思いますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

日 時:2014年 2月16日(日) 午前9:00～15時30分終了予定  
(開催日が変更になっておりますのでご注意ください。)

場 所:熊本保健科学大学(昼食の販売はありません。近くに売店やコンビニがありませんので昼食は持参する事をお勧めします。)

講 師:画像生理研究班班員

参加費:技師会会員 1000 円 非会員 3000 円

※資料の準備、受講者人数把握の為事前登録制にします。E-mail に所属、名前、会員番号(非会員は不要)、受講したいセミナー(心臓か腹部か)を明記の上申し込んで下さい。なるべく1通のメールに1人の記名をお願いします。申し込みが多い場合は抽選とします。(定員は腹部、心臓それぞれ 15 名程度)締切は 2 月 14 日迄です。

申し込み先 E-mail: [uskiso5@gmail.com](mailto:uskiso5@gmail.com)

※事前登録されてない場合は受講できません。受講の可否はこちらからメールします。こちらからのメールの返信がない場合は申し込みのメールが届いていない場合がありますので必ず電話にてご確認下さい。

お問い合わせ先:画像生理研究班

熊本中央病院 検査科 岩山義雄  
TEL096-370-3111(内線2504)



## 第2回 感染症診断フォーラム－九州－のご案内

拝啓 時下、先生方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび熊本地区におきまして感染症診断に関する研修を目的に「第2回感染症診断フォーラム－九州－」を下記のとおり開催することになりました。

本フォーラムは感染症診断に関する事例検討、講演を通じて、情報交換を行い課題や問題点を共有することにより医療の質の向上を目指す機会として、更には日頃各地でご活躍の皆様の研鑽の場として開催するものです。開催の趣旨をご理解のうえ、本フォーラムへの参画と今後の活動に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

感染症診断フォーラム－九州－  
代表 柳原 克紀

開催日時：平成26年 **2月22日（土）** 15:00 ～ 18:00（受付開始 14:30 より）

会場：熊本市国際交流会館 4F 第3会議室（下図をご参照ください）

〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番18号

定員：60名（会場設営の都合上、参加希望の方は別紙FAX用紙による申込みをお願い致します。）

参加費：無料

○ 会場：熊本市国際交流会館

TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783

○ 交通アクセス

1. JR 熊本駅からのアクセス

◆都市バス、九州産交バス、他で10分「交通センター」

下車 徒歩約3分。 タクシーで約10分

2. 熊本空港からのアクセス

◆九州産交バスで約45分「交通センター」下車

徒歩約3分、 車で約45分

3. 九州自動車道

熊本インターチェンジより車で約30分

植木インターチェンジより車で約45分



主催：感染症診断フォーラム－九州－

後援：アリーア メディカル 株式会社

連絡先：アリーア メディカル 株式会社 西日本営業部 福岡オフィス

徳末 敦士 TEL 090-9000-7841 / 坂元 良平 TEL 080-3400-1917

共催：一般社団法人 熊本県臨床検査技師会

## 第2回 感染症診断フォーラム –九州– プログラム

…………… 受付開始 14:30～ ……………

### 【 開会挨拶 】 (15:00 ~ 15:05)

アリーアメディカル株式会社 西日本営業部 大島 省三

### 【 一般演題 】 (15:05 ~ 15:40)

司会 今給黎総合病院 中央臨床検査部 村中 利也先生

演題1 『 CD 陽性サーベイランスと外部評価 』  
済生会熊本病院 TQM 部 感染管理室 溝上 幸洋先生

演題2 『 臨床材料を用いたトキシンA/Bおよび GDH 検出キットの検討 』  
長崎大学病院 検査部 松田 淳一先生

### 【 教育講演 】 (15:40 ~ 17:10)

座長 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野教授 柳原 克紀先生

#### 教育講演 I

演題：『 “*Clostridium difficile* 感染症” 現在の状況とこれからの課題 』

演者：独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 総合内科、院内感染対策室 森 伸晃先生

#### 教育講演 II

演題：『 *Clostridium difficile* 感染症 (CDI) の臨床と対策 』

演者：熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 宮川 寿一先生

…………… 休憩 15 分 ……………

### 【 総合討論 】 (17:25 ~ 18:00)

司会 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野教授 柳原 克紀先生  
熊本大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門 大隈 雅紀先生

コメンテーター 今給黎総合病院 中央臨床検査部 村中 利也先生  
長崎大学病院 検査部 松田 淳一先生  
済生会熊本病院 TQM 部 感染管理室 溝上 幸洋先生

アドバイザー 熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 宮川 寿一先生  
東京医療センター総合内科、院内感染対策室 森 伸晃先生

## 参加申込書

### 第2回 感染症診断フォーラム—九州— 《平成26年2月22日(土)開催》

ご施設名			
参加者 (代表者)	ご所属・役職		
	ご氏名	先生	
	日臨技 会員番号		
	TEL	TEL: ( )	
	FAX/E-mail	FAX: ( )	E-mail: @
参加者 (その他)	ご氏名 ※フルネームでお願いいたします。		

個人情報の取り扱いについて：ご記入いただきました個人情報は、参加エントリーのために利用し、他の目的のためには使用いたしません。

### 参加者アンケート

当フォーラムは、安心・安定してアリーア製品をお使い頂くために、周辺知識の習得を目指した会とし、参加者が自主的に勉強に取り組める学術的な会をめざしております。

今回のテーマは、クロストリジウムディフィシル関連が主であり、その関連で、各施設の運用状況や日々疑問に感じているご質問にお答えするためのパネルディスカッションを企画しております。ぜひ、アンケートのご協力をお願いいたします。

#### ○ クロストリジウムディフィシルの検査に関して

- (1) どのくらいの検査依頼がありますか？
- 月に10検体以下
- 月に10～30検体
- それ以上(具体的に: )
- (2) 検体採取はどのようにしていますか？(複数回答可)
- 1～2mL(g)を試験管などに採取している。
- 5mL(g)以上を便容器に採取している。
- その他(具体的に: )
- (3) どのような状態の検体が提出されますか？
- 検体の大半が、水様から軟便である。
- 検体の中に、よく有形便が混じっている(約1～2割)
- 検体の中に有形便が混じる率が高い(約半分程度)
- その他(具体的に: )
- (4) 培養検査を実施していますか？(複数回答可)
- すべての検体で嫌気培養を実施
- 迅速キットの結果から、培養判断
- 毒素陽性時  (GDH陰性/ )毒素陰性時
- GDH陽性/毒素陰性時
- 嫌気培養は実施していない。
- その他(具体的に: )
- ※(4)-2 培養検査を行っている施設に質問です。コロニーから毒素産生性の確認(Toxigenic culture)はしていますか？
- している
- していない
- (5) 結果報告はどこまでしていますか？(複数回答可)
- 迅速検査結果を報告している
- GDH (臨床へ報告、報告せず)
- 毒素 (臨床へ報告、報告せず)
- 培養結果を報告している
- その他(具体的に: )

#### ○ 質問と要望事項 (必ず1件の記入をお願いいたします。)

(クロストリジウムディフィシル関連を中心に、現在、困っている事など。弊社への要望事項など。)

平成26年2月7日(金)までに、ご記入の上下記FAX番号にご返信、又は弊社営業担当者にお渡しください。

**FAX : 092-473-9562** (徳末宛)